

2020/8/28

長崎国際法律事務所
辻恭子代理人 弁護士 谷 直樹 殿

件名： ご回答

初にお目にかかります。

2020/7/12 付で辻恭子宛に送付しました書簡「西山キミエの葬儀および法要の費用」を添付します。

それに対する返事「ご回答」を本日、初めて受領いたしました。

どのような経緯で貴殿に相談されたのか分かりませんが、2018年11月30日、相続の準備のため、財産目録を作るための話し合いを辻宅で持ちましたが、辻恭子は、母 西山キミエの財産に関しては「全て見せられん」、と開示を拒否しました。

そこで、翌日（2018年12月1日）弁護士 岩永隆之氏に成年後見人の選任を依頼しました。

問題の1は、母 西山キミエがセレモニー長崎の互助会に加入している事実を辻恭子から一切聞いていないことです。2018年11月30日時点、および2019年3月22日の時点。

問題の2は、突然に母 西山キミエの葬儀の喪主を希望する真意は何か？全く分からない。西山家（200年前の先祖まで遡る）の菩提寺は諫早市の浄土真宗 正源寺でしたが、曾祖父の時代に西山家の墓地を含む地所を養子に出した子に譲渡していたことから、立ち退きを要求されていたが、母 キミエは 20年以上も放置していた。

母を介護施設へ送り出した辻恭子は立退き状を受け止めることなく小生宛に転送して来た。2014年7月20日、横浜市の浄土真宗 長延寺墓地に改葬した。



長延寺において、2015年3月25日、祖父の55回忌法要、父の35回忌法要を挙行し、2019年5月18日弟 紘二の満中陰法要および納骨を挙行し、2020年4月4日、コロナ禍の下、ご住職が本堂のドアを全開して弟 紘二の1周忌法要を挙行していただいた。また、2021年3月22日は、弟 紘二の3回忌法要を営むべく長延寺でスケジュールして頂いています。

そこで、辻恭子が喪主を務めたいとの意向は、全く理解できない。何故、西山の正当な相続人である「紀男」を差し置いて、社会通念および社会慣習に反したことを言い出すのか？

父 留太郎の葬儀においても「紀男」が喪主を務めていた。

母 キミエが元気な時、自身の葬儀およびその後の納骨、法要を辻恭子に依頼する旨を申し入れていたのか？ 小生は、母から何の相談も受けていないし、恭子から何も聞いていない。

もし、それが母の真の意向だったのであれば、葬儀、辻の墓所への納骨、法要、一切を辻恭子が挙行しても仕方が無かろう。

このことは、死後、キミエは西山家から離れ、辻家に移籍することを意味する。

以上、

添付： 書簡「西山キミエの葬儀および法要の費用」

この書簡は、辻恭子にも必ず FAX 送信してください。
正確に伝えて欲しいからです。

道後湯之町 西山 紀男

追伸： 貴職のメール ID を教えてください。

なお、小生のメール ID は、次です。

qqcm2mg9k@air.ocn.ne.jp